

NAGASAKI YOUNG GENERATION ASSOCIATION

1995年4月21日 社団法人長崎青年協会会報 第190号

SLOGAN

己 に 厳 人 に 寛



平成7年2月21日 例会時 会員数93名

掲示板

- 5月8日 理事会
- 15日 ◦
- 22日 定時例会

4

発行 長崎市魚の町17-7
(社)長崎青年協会
会長 新井正憲 和
広報委員会
編集 広報委員長 渡部一夫

創立／昭和44年3月1日 社団法人設立／昭和59年3月23日

NYA press
no.190
April 1995

『己れに厳、人に寛』



'95年会長 新ヶ江 憲和

いよいよ4月から新年度が始まりました。新年度に対する抱負をということですが。私には青年協会をこうしたいとか、こういう事業をしたいとか、これといった「ビジョン」があるわけではありません。

私はこの一年間で、青年協会の最もベーシックな部分を考えて行きたいと思います。

私は本年度のスローガンに「己に厳、人に寛」と云う言葉を掲げました、これは人と人との交際術を著す中国の格言です。読んで字のごとく非常に単純で誰にでもわかりやすい言葉ですが、これを実行することはなかなか困難なことあります。

青年協会の永遠の課題であります例会や、事業の会員の出席率のアップもお互いに相手を思いやる気持ち（相手が頑張っているから何か手助けしてやろうとする気持ち）を、より多くの会員が持てば、決して実現できないことではないと思います。

人は己に厳になると人にも厳を求めるものです。例えば委員長が委員会に出席しないメンバーのことを理事会で彼はだめだと報告するのではなく、彼は来たくても何かの理由で来れなかったのだと言う、相手を許す気持ちを持てば少なからず委員長の気持ちは相手に伝わると思うし、そう言う気持ちが青年協会の青年協会らしいところであると思います。

また人は己に寛である為に人にも寛であってはならないと思います。

私は皆さんにいろんな「約束」を守ろうと提案します。例えば理事会を円滑にスピーディに行なう為に遅刻をしない。（時間を守る）懇親会に出席すると返事をし、何の連絡もなしに欠席することはしない。この様なことは社会生活における最低のエチケットであると思います、こういう時はお互いに厳しく注意をすべきだと思います。

話が説教じみて来ましたが、こういう事を根本に会員全員が活動できたら、もっとも大事な委員会活動を軸として、委員会の声が理事会に反映され、理事会の議事が会員一人ひとりに正確に伝わり、それによって全体として意志の統一を図ることができ、内部事業においても、対外事業においても、会員全體が完全燃焼し、その事業によって会員同士が本当に仲良くなり、理解し合えるようになると思います。それを目標に一年間自分自身に最も厳しくプレッシャーをかけながら努力して行きたいと思います。宜しく御支援を御願いいたします。

'95年度新役員の抱負を聞く



直前会長 桑田 啓伍

気持ちも新たに直前会長の役目を私なりに考え、行動に移していきたいと思っております。協会のすばらしい所を折にふれ、会員の皆さんに話をする事を第一に私の役目と考えております。新ヶ江会長を中心に、一致行動する為にも、相互の信頼を強めなければなりません。

今年度は、会員間にとどまらず、家族同士お付き合いの出来るようにと、基本プランをたてているようです。私もおよばずながら「邪魔者」にならないよう、基本にそって側面で応援していきたいと思います。



副会長 渡辺 秀孝

今年度、卒業の年に腹下胃腸として不重責を担うわけですが、心を新たにして役目を全うしたいと思います。

これまでの基礎を築いてくれた諸先輩の方々の労に感謝し、そして意をくみながら事業の見直しや、関係諸団体との交流も深め、幅のある協会として歩み続ければと考えます。最後に会員と御家族の皆様方には、何卒変わらぬご理解とご協力を賜ります様宜しくお願ひ申し上げます。



副会長 伊藤克樹

本年度、新ヶ江会長の「内部充実を計りたい」という意思の下で、副会長という大役を、務めさせて頂くことになりました。

どうしても、内部充実というと、消極的なイメージを描きがちですが、ひとつひとつの事業を、一生懸命やることで得られる達成感や充実感、連帯感や仲間意識を大切に、より積極的な内部充実を計ることが重要だと思います。

長崎青年協会でしか味わうことのできないことを、ひとつでも多く体験し、何かをつかむことができれば、すばらしいことだと思います。

これから1年間、みなさんといっしょにがんばって行きたいと思いますので、どうぞ、宜しくお願ひ致します。



事務局長 田川俊幸

今年度は、裏方に徹し各事業が円滑に運営出来る様、陰ながら皆様のサポートをしていく所存であります。



企画調整室長 和田正信

今年度、新ヶ江会長のモットーである内部充実を図る為に、対外的事業への涉外、広報等を先頭に立って行なって行きたいと思っています。例えば、今年3年目を迎えるふうせんバーボール大会や、ネットワーク市民の会、被爆50周年事業、ながさきみなとまつりなどいろいろありますが、青年協会のこれから活動の為に、どのような関わりを持って行くべきか?又、どうしたら青年協会らしい活動が出来るか?などを考え、会員の皆様が納得出来る方向へ少しでも穂先を向ける事が出来ればいいなと思っています。

我々企画調整室のメンバーは、他の委員会よりもはるかに少ないわずか3人ですが、どの委員会にも負けないように、3人一体となって1年間をがんばって行く考えですので、皆様よろしくお願ひします。



総務室長 井上章

卒業年度を迎え、最後のお務めの年となりました。あたりを見回し、先輩諸氏のお姿が無いという事は、なんとも淋しいものがあります。先達の思いやりあふれる的確なアドバイス、そしてタイミングなど、まだまだ勉強中の身にしみております。(会員の皆様には何かとお世話になります。)

本年度も気持ちの中は本音を基本に、「わからない事は、わからない。」と言える自分になる様務めます。回りに流される事なく、自分の考える方向を模索していきたいと思います。当然、委員会の皆様にはご迷惑をおかけする事と思いますが、よろしく

お願ひ申し上げます。



会員室長 岩満克弥

本年度会員室長ということで、広報、会員開発、会員交流の3委員会を担当させていただきます。

3委員会共、青年協会の内部充実を図るという意味では、大きな役割を担っていると思います。新入会員を募集し、会員相互の研鑽と親睦を深め、全会員に広報紙を通じて青年協会の活動を認識していただく。特に会員開発委員会においては、対外的事業を充実させると共に1人でも多くの仲間づくりをし、親睦を深めていくという意味でも、新入会員の獲得に最大の力を発揮しなくてはなりません。しかし、一委員会では限界があります。どうか現会員並びにOB諸兄のご協力を宜しくお願ひ致します。

3委員会共、積極的に本年度の事業計画を考えています。スムーズな委員会活動ができるような体制づくりに努力することが、私の大きな役割のひとつではないかと考えています。皆様のご協力宜しくお願ひ致します。



事業室長 岡田康信

新ヶ江新会長のもと、渡辺副会長、伊藤副会長を中心に井上室長、岩満室長、和田企画調整室長、田川事務局長と共に、力を合わせて青年協会の内部の充実に今年一年努力していきます。そのために事業系3委員会におきましては、各委員長を中心に、委員会でよく話し合った事業計画を実行していきたいと考えています。

なお、各会員の御意見、ご希望などがありましたら、理事会のおりに各理事の方をとおして、より多くの御意見、ご希望をお寄せください。

最後に、どうぞ会員の皆様、事業への御出席をよろしくお願ひ致します。



監事 永田吉郎

監事に要求されるのは、理事会の熱い議論に対し冷静な視点で意見を述べることで、間接的に方針決定の援助をすることだと思います。

そのためには「各々がある期間休んでしまう季節監事団」のカゲ口に負けず理事会に皆勤し、私なりの意見を聞いてもらう決意をしています。

例の「季節監事団」は、張君と金田君と私の3人からなります。私にとって問題はこの強者2人に負けない独自の監事色を出すことです。とりあえずは2人のスキマをうめる作戦でいくつもりです。

私は、35歳で青年協会に入会したので、まだまだこれからと思っているうちに最後の年を迎えるました。監事には直接担当する事業はありませんが、悔いが残らないよう積極的に事業に参加したいと思っています。

今年度のスローガン「自分の事は棚に上げ、まずは理想とタテマエを言う。」



監事 張仁春

私にとって、今年度は青年協会最後の年にあたります。最後の年に監事の大役を仰せつかりました。名前だけの監事にならないように努

卒業者を送る夕べ

3月23日(木) ホテルニュー長崎に於いて87名の参加の上、卒業者を送る夕べが開催されました。桑田会長より一年間を振り返り挨拶があり、OB会長三浦氏の祝詞の後、現役4名の方々の紹介を受けた卒業者がステージに揃い、コメントを頂きました。

プレザー贈呈の後、森直前会長の乾杯の音頭で懇親会が始まりました。懇親会においては新人研修のビデオ放映を楽しく見ることが出来、又、OBの方より温かい言葉を頂きました。

卒業者を囲み大半の方々、現役と話が弾み、青年協会の大きな輪を感じる事が出来「あっと云う間の時間でした。」

卒業者の方々に、現役より「ありがとう」と云う気持ちと益々の御発展を心よりお祈り申し上げます。

- S59. 4入会 桑田 啓伍
- S56. 3入会 合六 忠
- S58. 2入会 中村 善人
- S62. 7入会 船津信三郎



力するつもりです。

早いもので青年協会に入会して12年目になります。30代最後の仕事として新ヶ江会長の相談役として役に立って行きたいと思います。また、理事会では討議の行方を公平な立場で見守っていくことも大事な仕事だと認識しています。

今までたくさんの方々や多くの経験を与えてくれた青年協会にまた、大変お世話をなった会員の皆さんに少しでもお役に立てる様、この1年悔いのない活動をめざしたいと思いますのでよろしくお願いします。



監事 金田芳裕

新年度がいよいよスタートいたしますが、在籍10年目で卒業という節目の年に、監事をさせていただくことに大変よろこびを感じております。(本年度の監事を人は“季節労働者”ならぬ“季節監事”と呼んでいるようですが……) 長崎青年協会に入会して、本当に色々な事を学んできたつもりです。

最後の1年間を有意義に、この協会で培ってきた精神にもとづき、微力ながら協会の為に役立たせていければ幸いと存じます。

平成6年3月23日
於 ホテルニュー長崎

(平成6年度)
例会委員長
板倉和人



卒業者奥様アンケート



- ①顔とスタイル
②出っぱったお腹
③皆様に大変お世話になり、特にこの一年は会長という大役を頂き、無理なお願いもあったかと思いますが、

皆様のご協力で無事に一年を乗り切ることができました。本当にありがとうございました。(4)かけがえのない体の一部。(5)お父さんが家に居ないのに慣れるまでは随分不平も言ったと思いますが、熱意に負けていつしか応援していました。11年間ご苦労さまでした。



- ①ガッツがあり熱血漢。反面、情け深く思いやりがある。

②短気ですぐカッとする。
③我ままな主人を温かく見守って下さった事に深く感謝しています。これからの方々の御活躍を期待しております。
④短い活動期間でしたが、思いで深いところだったのではないでしょうか。
⑤お疲れ様でした。これからも休むことなく日々精進して下さい。頼りにしていますよ お父さん！

- ①あらためて御主人のことが好き ②ここが嫌い ③協会メンバーにメッセージ ④協会とは何だったのでしよう ⑤最後に御主人にひとと言



- ①クッキングパパなところ。我が家家の名コックです。(後片付けまでしてくれると最高なんだけ……)

②気の合う仲間とのお酒はおいしいでしょう。飲み過ぎて我を忘れ。トイレも忘れ、挙句の果て洗濯機で用を足した。
③たまに飲みに誘って下さい。ただし、悪い遊びはお断わり。お世話になりました。
④清々しい汗と充実感、仲間との出逢い。
⑤ご苦労さまでした。



- ①あまりいろいろと言わないところ
②時々口が悪いときがある。(グサッとくることがある)

③今後もますますこの会の活動に多くの方々が参加するように、頑張って下さい。
④青春の1ページ (カッコよすぎる？)
⑤今後、青年協会で学んだことを、いろんな場所で発揮できる様にしてほしい。

ご協力ありがとうございました。

**新 委員長
就える!!**

会員開発 櫻井俊郎

執念と創造力で事業の壁を突破 初心に戻ります はたらく!! 集まろうみんの例会

特別事業 平田雄一

みんなで作ろう広報誌 同情するなら記事をくれ ふれあい ファイサー & ピース (意味不明)

企画事業 西口勝治

会員交流 吉田正幸

賢実 ふれあい

研修 渋谷晃

「ハート → ソフト → ハード」(こだわり)(だんごり)(体当り)

総務 白山光男

地域事業 板倉和人

広報 渡部一夫

同好会だより

●テニス

家族、友達、恋人どんどんさそって参加して下さい。

●野球

大型新人入部。今年は手ごたえあり。

●ツーリング

1シーズンに1回のツーリングを目標。

●パソコン

協会のやくにたつプログラムを一つつくりたい。

●アウトドア

自然に帰ろうをスローガンに、夏に五島、秋はキャンプを計画しています。

●マージャン

大きな大会を検討中。

●バスケット

合六監督有終の美を飾る!!

西部ガス×青年協会

(Yama²) (冗談)

24 32 3月20日

山里小学校

●ゴルフ

雨にも負けず、風にも負けず、そんなプレイヤーに私はなりたい。

●釣同好会

梁瀬君超大物を釣り上げる。

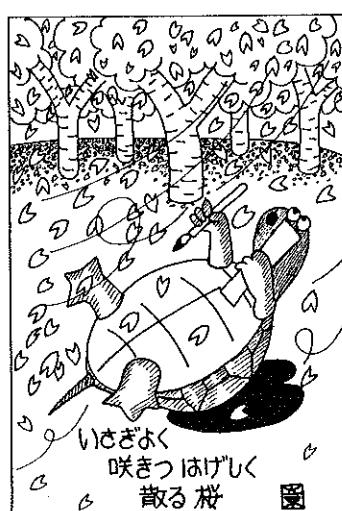
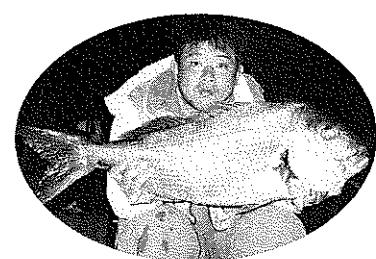
真鯛10K 90cm

3月8日 場所 あじ曾根

会員募集!

今年度の釣同好会は、ファミリー

で楽しめる釣から、大物ねらいの釣まで、幅広く挑戦していきたいと思います。やってみたい方、初心者及びプロ?歓迎します。御一報下さい。同好会幹事山口まで。



◀ 編集後記 ▶

新年度、第一号の広報誌はいかがでしたか。我々、委員会は少し目線を変えてみたいと考え “みんなで作る広報誌” をキャッチフレーズに、全会員が1人残らず1度はペンを取り、紙面に登場することを目指そうと考えました。

事業報告も、表面上のみたままのレポートに留まらず、一番苦心した担当委員会にお願いし、担当者にしか書けない報告をお届けしたいと思います。又、他にもいくつかのコーナーを設け、会員の投稿により誌面を飾ってまいりたいと思います。そして発行は郵送ではなく毎月の例会場での手渡しとなりました。これにより当然の事ながら、発行遅れが許されなくなりましたので、原稿依頼の折りにはくれぐれも締切日を厳守していただきます様、皆様のご協力を心よりお願い致します。

ともあれ、青年協会 新ヶ江丸が、今船出の時を迎えるました。大海原にまっ白な帆を揚げて旅立つ船に、協会員一同1人残らず乗り込み、力の限り漕ぎ進みましょう。

広報委員会